

マスコミ各位

平成27年1月14日（水）

沖縄県保健医療部健康長寿課 結核感染症班

担当：平良、大野

電話：098-866-2209

インフルエンザの流行状況(第三報)について ～警報発令継続中～

1 概要

平成27年第2週（1月5日～1月11日）における感染症発生動向調査でのインフルエンザ定点当たり報告数は、県内では62.98（定点医療機関58カ所、報告数3,653人）となり、引き続き警報発令基準値の30を超えており、警報発令を継続中です。

第2週の患者報告数（3,653人）は、前週（2,827人）と比べ約1.3倍増加しています。年齢別患者報告数は、1～4歳が549人（15.0%）と最も多く、次いで5～9歳が534人（14.6%）、20代が523人（14.3%）、30代が437人（11.7%）の順となっており、前週に比べ1～4歳が2.3倍、5～9歳が1.6倍増加しています。

基幹定点（7医療機関）からのインフルエンザ入院患者報告数は42例であり、前週（35例）より増加した。年齢別では、80歳以上が16例と最も多く、次いで70代9例、60代5例、1～4歳4人の順となっており、高齢者で増加傾向にあります。

また、インフルエンザウイルスの検出状況は、A型が99.0%（3,348/3,382）と検出割合が最も多く、B型が1.0%（34/3,382）となっており、A型はAH3亜型が検出されています。

2 インフルエンザの患者発生状況

感染症発生動向調査事業において県内のインフルエンザ58定点医療機関（小児科定点:34、内科定点:24）の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、全国約5,000カ所の定点情報と併せて分析し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

(1) 定点あたりの患者報告数（直近の7週間）

		48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週
		11/24 ～11/30	12/1 ～12/7	12/8 ～12/14	12/15 ～12/21	12/22 ～12/28	12/29 ～1/4	1/5 ～1/11
県	患者数	79	112	328	549	1,260	2,827	3,653
	定点当たり	1.36	1.93	5.66	9.47	21.72	48.74	62.98
全 国	患者数	9,396	17,192	36,455	74,752	130,971	100,117	
	定点当たり	1.90	3.49	7.38	15.17	26.63	21.46	

※感染症発生動向調査システム上の警報・注意報の発令基準値

流行注意報：定点当たり10以上

流行警報：定点当たり30以上

第2週の保健所別定点当たり報告数は、那覇市保健所が86.83で最も多く、次いで南部保健所78.71、中部保健所54.40、八重山保健所54.33、北部保健所31.6、宮古保健所25.00の順となっています。

(2) 年齢別患者報告数 (第1週～第2週)

年齢群	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
患者報告数											
1週	40	241	326	341	183	477	437	325	190	267	2827
(%)	(1.4)	(8.5)	(11.5)	(12.1)	(6.5)	(16.9)	(15.5)	(11.5)	(6.7)	(9.4)	
2週	53	549	534	385	261	523	426	321	214	387	3653
(%)	(1.5)	(15.0)	(14.6)	(10.5)	(7.1)	(14.3)	(11.7)	(8.8)	(5.9)	(10.6)	

(3) 休校、学年・学級閉鎖の状況

第2週は、学年閉鎖1校(南部保健所管内中学校1校)、学級閉鎖1校(南部保健所管内高校1校)が報告されています。

3 インフルエンザの感染予防策(流行時の予防方法) チラシ参照

- ① 帰宅後や食事の前には、必ず手洗い・うがいをしましょう。
- ② バランスよく栄養を摂取し、十分な睡眠をとりましょう。
- ③ インフルエンザの予防接種を受けましょう。
- ④ 「咳エチケット」を実行しましょう。
- ⑤ 室内の換気に気をつけ適切な湿度を保ちましょう。
- ⑥ 不要不急の外出を避けましょう。

4 インフルエンザに罹ってしまったら

- ① かかりつけ医にまず相談し、受診しましょう(救急医療をつぶさない)。
- ② 感染を広げないために、会社や学校を休み、安静にしましょう。
- ③ マスクを着用し、咳やくしゃみをする時は「咳エチケット」を守りましょう。

【参考】インフルエンザ等の出席停止の期間の基準(学校保健安全法施行規則より)

「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児にあっては3日)を経過するまで」

※インフルエンザの場合、再登校させる際に、医療機関を受診させ治癒証明書を求めることは意義がありません。

【参考】インフルエンザ流行についての情報は、以下のサイトもご参照下さい。

チラシは沖縄県感染症情報センターホームページからダウンロードできます。

沖縄県感染症情報センターホームページ <http://www.idsc-okinawa.jp/>

国立感染症情報センターホームページ <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.htm>

インフルエンザまん延防止のお願い

気をつけよう!インフルエンザ

まずは手洗い



外から帰ったあと

石けんで手を
あらおう!



食事の前



咳やくしゃみを手で
おさえてしまったあと



トイレのあと

せき・くしゃみは
ティッシュで!

マスクを
しよう!

ティッシュが無ければ
せき・くしゃみは
にのうで!



使い終わったら
箱へ投入



咳エチケットも忘れないでね

インフルエンザにうつらないために 日ごろから気をつけましょう

咳
エチケット

インフルエンザをうつさないために



咳やくしゃみをする時、ティッシュペーパーを使って口と鼻を押さえましょう。ティッシュペーパーがないときはにのうで。



手を使ったり、そのままくしゃみをしてしまうとウイルスが広がってしまい二次感染の恐れがあります。

感染を防ぐために



予防チェック

日ごろしているものを
チェック!

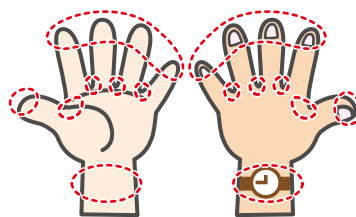
- 食事の前や帰宅後には必ず手洗い、うがいをする
- バランスのいい食事に努めている
- 休養を心がけて、睡眠時間を確保するようにしている
- インフルエンザの予防接種を受けている
- インフルエンザが流行しだしたら、不要不急の外出を避ける
- 咳エチケットを知っていて、実行している

手洗いの方法

- ポイント 1 爪は短く切る
- ポイント 2 時計や指輪ははずす
- ポイント 3 石けんをよくあわ立て、最後は十分に水で流す
- ポイント 4 ペーパータオルや清潔なタオルでよく拭き取って乾かす



汚れが残りやすいところ



- 指先や爪の間
- 手首
- 指の間
- 親指の周囲
- 手のしわ

インフルエンザの予防に関する相談窓口

北部保健所 Tel:0980-52-5219 / Fax:0980-53-2505
 中部保健所 Tel:098-938-9701 / Fax:098-938-9779
 南部保健所 Tel:098-889-6591 / Fax:098-888-1348
 宮古保健所 Tel:0980-73-5074 / Fax:0980-72-8446
 八重山保健所 Tel:0980-82-4891 / Fax:0980-83-0474
 那覇市保健所 Tel:098-853-7971 / Fax:098-853-7967

相談受付 平日 午前8時30分～午後5時15分

お問い合わせ ▶ 沖縄県保健医療部健康長寿課
 インフルエンザ情報 ▶ 沖縄県感染症情報センター

Tel.098-866-2209 Fax.098-866-2289
 ホームページ URL:<http://www.idsc-okinawa.jp/>

子どもの急な病気に困ったら、まず☎!

小児救急電話相談

受診した方が良いのか、様子をもても大丈夫なのか、看護師や医師が電話でアドバイスします。

プッシュ回線の
固定電話・
携帯電話からは、
局番なしの

#8000

※相談日時は、毎日夜間午後7時～午後11時